


平成21年度 医薬品包装セミナー

— 医薬品包装を取り巻く現況と求められるポイントについて —

日 程：平成22年3月19日（金）

会 場：(社)日本薬学会 長井記念ホール

主 催：  社団法人 日本包装技術協会 関東支部

プログラム

時間	講演内容	講師
10:00 ▼ 11:10	<p>『改正薬事法全面施行とOTC医薬品広告表示の留意点』</p> <p>今回の薬事法改正により、生活者が自らの判断でOTC医薬品を適切に使用して軽度な疾患の症状を改善するセルフメディケーションの推進への環境づくりは一段と整備されたといえる。このような状況下、OTC医薬品の広告はその果たすべき役割も当然変化が求められている。“メリハリのついた、しかも実効性ある販売制度”の実現をめざした薬事法の改正に伴い広告面でも、①リスク区分の広告表示 ②リスク区分別「使用上の注意」の記載 ③生活者サイドに立った情報提供の一つとして治験データ、臨床データ等の広告への活用の部分的な解禁 などの動きがあった。これらの動きを中心に、OTC医薬品広告の留意点と今後の医薬品広告はどうあるべきかについて述べる。</p>	<p>セルフメディケーション データベースセンター 専務理事 室伏 義之 氏</p>
	<p>コーディネーター 持田製薬(株) 製剤研究所 創剤研究 専任主事 大日本印刷(株) 包装事業部 開発本部 Mプロジェクトリーダー</p>	<p>酒井 和家 氏 岩村 泰造 氏</p>
11:20 ▼ 12:30	<p>『改正薬事法の施行とドラッグストアの将来について』</p> <p>昨年6月より実施された改正薬事法の狙いや内容を明らかにするとともに、この新法施行を機に、ドラッグストア業界が10兆円産業化する可能性について解説する。また、このドラッグストア業界の第2次成長期における、メーカーや商品についてのあり方や望まれる方向性などについても言及する。このセミナーにて製造メーカーの方々に、改正薬事法を満たす包装設計のみならず、売れる売り場づくりのために求められる包装についての提案や要望を行う予定。</p> <p>講演内容は以下の通り。</p> <p>①改正薬事法の狙いと内容 ②改正薬事法とセルフメディケーションの推進 ③第2次成長期を迎えるドラッグストア業界 ④次代の成長ドラッグストアを支える製配販のあり方 ⑤売れる売り場づくりからみた包装設計 ⑥その他</p>	<p>日本チェーン ドラッグストア協会 事務総長 宗像 守 氏</p>
	<p>コーディネーター (株)協進印刷 常務取締役 中外製薬工業(株) 経営管理部 グループマネージャー</p>	<p>広瀬 康男 氏 山東 義明 氏</p>
13:30 ▼ 14:40	<p>『保険薬局において取り扱う医薬品の包装の情報とデザインの重要性について』</p> <p>保険薬局は複数の病医院より院外処方せんを受け付けるため、非常に多種類の医薬品ならびに外観等の類似した医薬品を取り扱う必要がある。また同時に、患者さんへは有効で安全な医薬品を正確かつ迅速に提供することが要求される。そのような状況で医薬品の調剤（取り揃え）を行う場合には、被包（包装）に記載されている情報の内容とデザインは非常に重要な意味を有する。すなわち処方せんに従って取り揃えを行う際には、薬剤師は包装に記載されている薬品名や規格（含量）およびそのデザインを重要な識別情報として認識している。しかし、多数ある医薬品や同一薬品名で規格だけの異なる医薬品の中には、包装デザインなどが類似している製品が見受けられる。これらの医薬品は取り間違いなどの調剤過誤につながる可能性がある。岐阜薬科大学附属薬局での取り扱いのある内服用医薬品の包装の情報とデザインについて調査したところ、色調等により識別性に配慮されている製剤と配慮が不十分な製剤が存在し、調剤過誤回避の観点から、包装の記載状況の改善を要望すべき医薬品のあることが示唆された。もう一方で、OTC医薬品の消費者へのアンケート調査の結果から、OTC医薬品における包装の情報とデザインの重要性についても考察したい。</p>	<p>岐阜薬科大学 実践薬学大講座・ 薬局薬学研究室 准教授 堀内 正 氏</p>
	<p>コーディネーター ゼリア新薬工業(株) 中央研究所 コンシューマーヘルスケア研究部 (株)カナエ 包装技術開発研究所 包装技術二グループ マネージャー</p>	<p>高橋 洋明 氏 菱田 克彦 氏</p>
14:50 ▼ 16:00	<p>『一般用医薬品のユニバーサルデザインの現状と課題』</p> <p>高齢化社会・多様性社会を迎え、セルフメディケーションの機運が高まってきているが、その根幹を成す一般用医薬品は“使いづらい”という意見も多く、これがセルフメディケーション振興のボトルネックとなっている。実際、「使いづらい・利用しづらい」と感じる日用品として、文房具・事務用品、食品・飲料に次いで医薬品があげられており、その理由として、「説明書の読みにくさ」、次いで「容器や包装の使いづらさ」が指摘されていた。ところで、UDはこのような多様な利用者のニーズに応える有効な方法として、近年様々な分野で取り上げられている。医薬品についてもUD導入の取り組みは始まっているが、依然として、“画一的な情報提供方法”や“製品あるいは情報の配色”、あるいは“使いやすさと誤用防止”に関する問題点などが指摘されている。そこで本講演会では、一般用医薬品のUDに関する現状と今後の課題について紹介する。</p>	<p>熊本大学 大学院 医学薬学研究部 医療薬理学分野& 薬物動態制御学分野 教授（併任） 丸山 徹 氏</p>
	<p>コーディネーター 藤森工業(株) 研究所 グループリーダー 第一三共(株) 製薬技術本部 CMC企画部 主査</p>	<p>鈴木 豊明 氏 片山 通博 氏</p>

講師のご紹介

■室伏 義之 氏 セルフメディケーション・データベースセンター 専務理事

1940. 3 東京都生まれ
 1962. 3 早稲田大学第一政経学部卒業
 1962. 4 武田薬品工業株式会社入社
 1998. 5 同社退社
 1998. 6 日本大衆薬工業協会(現日本OTC医薬品協会) 事業推進部長就任
 2007. 5 同協会退任
 2007. 6 セルフメディケーション・データベースセンター専務理事就任

■堀内 正 氏 岐阜薬科大学 実践薬学大講座 薬局薬学研究室 准教授

昭和58年 岐阜薬科大学 製造薬学科 卒業
 平成 元年 岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 就職
 平成11年 たんぽぽ薬局 就職
 平成15年 松波総合病院 薬剤部 就職
 平成18年 岐阜薬科大学 着任

■宗像 守 氏 日本チェーンドラッグストア協会 事務総長

1985年9月 (株)日本リテイール研究所を設立し、数々の企業育成に努める
 1999年6月 日本チェーンドラッグストア協会設立、現在事務総長を務める。
 2002年 経済産業省 商業統計、2007年 総務省 日本標準産業分類にドラッグストア業界を組み入れる
 現在、業界の団体・組織が集まった日本薬業連絡協議会の議長を務める。
 日本チェーンドラッグストア協会 (JACDS) 事務総長・一般社団法人 日本医薬品登録販売者協会 事務総長・日本薬業連絡協議会 議長・社団法人 流通問題研究会 理事・コーネル大学RMPジャパン 講師・城西大学薬学部 講師・NRKグループ(株)日本リテイール研究所 代表取締役

■丸山 徹 氏 熊本大学大学院 医学薬学研究部 医療薬学分野&薬物動態制御学分野教授(併任)

平成2年熊本大学大学院薬学研究科博士課程修了 米フロリダ大学薬学部、米ペンシルバニア州立大理学部でポスト・ドクトラルフェロー(客員研究員)、財団法人ヒューマンサイエンス研究員、熊本赤十字病院薬剤部勤務
 平成12年より株式会社ファーマタイプ 常務取締役学術部長
 平成18年4月より熊本大学薬学部医療薬学分野(教授)担当
 平成21年4月より熊本大学大学院医学薬学研究部 薬物動態制御学分野(教授)併任 現在に至る

開催要領

日 時:平成22年3月19日(金) 10:00~16:00
 会 場:(社)日本薬学会 長井記念ホール
 東京都渋谷区渋谷2-12-15
 TEL.03(3406)3326
 参加費:会員:19,950円(消費税5%、テキスト代含む)
 同時に3名以上でお申込みの場合には、
 割引価格として1名16,800円
 一般:23,100円(消費税5%、テキスト代含む)
 定 員:100名

お申込み方法

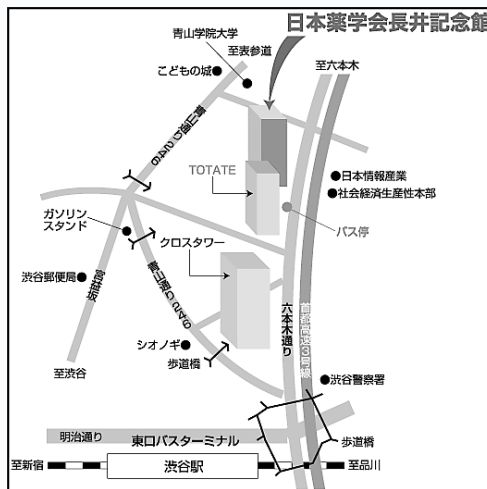
- 本誌申込書に必要項目を全て記入の上、FAXにてお申込み下さい。
 協会HPからのお申込みも出来ます。協会HP:<http://www.jpi.or.jp>
- 申込みされた方には後日参加証と請求書をお送りします。
- ご都合が悪くなった場合、代理の方の出席は差し支えありません。
 (当日受付にて名刺を頂戴します)

お問合せ並びに申し込み先

(社)日本包装技術協会 関東支部 医薬品包装セミナー係 担当:竹内
 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
 TEL.03(3543)1189 FAX.03(3543)8970
 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

平成21年度医薬品包装セミナー 会場案内図

- 会 場:(社)日本薬学会 長井記念ホール
 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-15
 TEL. 03-3406-3326
- 交通手段
 JR山手線、東急東横線、東急田園都市線、京王井の頭線、地下鉄銀座線・半蔵門線の渋谷駅下車
 JR渋谷駅東口より、高樹町方面へ高速道路3号線沿いに8分



個人情報の取り扱いについて

1. 個人情報は「平成21年度医薬品包装セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。

平成21年度医薬品包装セミナー参加申込書

社団法人 日本包装技術協会 業務部 竹内 行 FAX.03(3543)8970 No.

会社名					
所在地	(〒)				
電 話				FAX	
参加者	氏 名	所属役職		e-mail	
	氏 名	所属役職		e-mail	
	氏 名	所属役職		e-mail	

講師への質問事項

*当日のプログラムの質疑応答の際参考とさせていただきます。

講師宛